レッツ原価管理 Go2

インストールマニュアル

スタンドアロン版

LET'S

目次

1 インストールの前に …… 2
1 必要システム要件の確認 …… 2
2 データベース環境の確認 …… 3
1 データベースについて …… 3
2 既にSQL Server がインストールされている場合 …… 3
3 セットアップの流れ …… 3
4 その他 …… 3

2 レッツ原価管理Go2のセットアップ …… 4
1 インストール前の確認事項 …… 4
2 レッツ原価管理Go2のインストール …… 5
3 ライセンス認証 …… 10
4 バックアップ …… 12

3 レッツ原価管理Go！からの移行 …… 13
1 移行の流れ …… 13
2 データコンバート …… 13
3 データコンバート後の設定と確認 …… 15

4 補足 …… 16
1 使用コンピューターの変更 …… 16
2 アンインストール …… 17
3 個人設定保存･個人設定読込 …… 23
4 トラブルシューティング …… 24

● 本書では、レッツ原価管理Go2のインストール方法についてのみ解説しております。機能および基本的な操作方法につきましては、「レッツ原価管理Go2操作マニュアル」でご確認ください。
● 本書の内容に関しては、訂正･改善のため、予告なしに変更することがあります。
● Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

1 インストールの前に

レッツ原価管理Go2をインストールする前に、次の確認を行ってください。

1 必要システム要件の確認
　コンピューター・必須ソフトウェア
2 データベース環境の確認
　使用するSQL Serverのエディション

1 必要システム要件の確認

	使用するコンピューター
日本語OS	Windows 11 日本語OS64ビット版(x64) / Windows 10 日本語OS64ビット版(x64)
メモリ	4GB 以上
ハードディスク	1.4GB 以上(2GB以上推奨)　インストール時、最大約1.4GB　別途データ領域必要
CPU	インテルCore i3プロセッサ以上(推奨:インテルCore i5プロセッサ以上)または同等の互換プロセッサ
ディスプレイ	解像度1024×768 以上　High Color(16ビット)以上推奨
ディスクドライブ	インストール時、DVD-ROM ドライブが必要
プリンター	OSに対応するA4用紙が使用可能なプリンター ※プリンタードライバーについては、上記OSに対応したメーカーから提供されているドライバーをご使用ください。
データベース	Microsoft SQL Server 2019 Express Edition ※SQL Server 2019 Express Editionでは1データベース領域(会社ファイル)として最大10GBまで使用可能です。 ※SQL Server 6.5/SQL Server 7.0及び、これらのSQL Server互換のMSDEがインストールされている環境にはインストールできません。
Excelクリエートを利用する場合	Microsoft Excel 2010以降が別途必要となります。 ※ストアアプリ版のMicrosoft Excelではご利用頂けません。
動作に必要なソフトウェア	本製品の動作には、Microsoft .NET Framework 4.6.1が必要です。 ※インストール済みでない場合は本製品のインストール時に同時にインストールされます。インストール時に再起動が必要になる場合があります。
ご注意	※快適にご利用いただくために、より高スペックのCPUを搭載したコンピューター、並びにより多くのメモリ搭載をおすすめします。 ※処理中に、Windowsがスタンバイモード・休止モード・スリープモードに移行すると、エラーが発生する場合があります。 Windowsがスタンバイモード・休止モード・スリープモードに移行する前に、レッツ原価管理Go2を終了してください。 ※Microsoft社のサポート保証期間が終了しているOSについては正常に動作しない可能性がありますので、保証期間の終了していない OSでの運用をおすすめします。 ※Microsoft SQL Server および弊社アプリケーション使用領域(バックアップ含む)は、圧縮フォルダーでの運用をサポートしておりません。 ・タッチ操作やソフトウェアキーボードによる操作は動作保証外です。 ・BaiduIMEには対応しておりません。 ※OSの「日付と時刻」の設定を変更している場合、レッツ原価管理Go2が正常に動作しない場合があります。初期設定のままご利用ください。

2 データベース環境の確認

1 データベースについて

レッツ原価管理Go2のデータはSQL Server 2019を使用します。
会社データは指定したインスタンス名の領域に作成されます(既定「LETS」)

本製品のDVD-ROMには、SQL Server 2019 Express Editionが同梱されています。

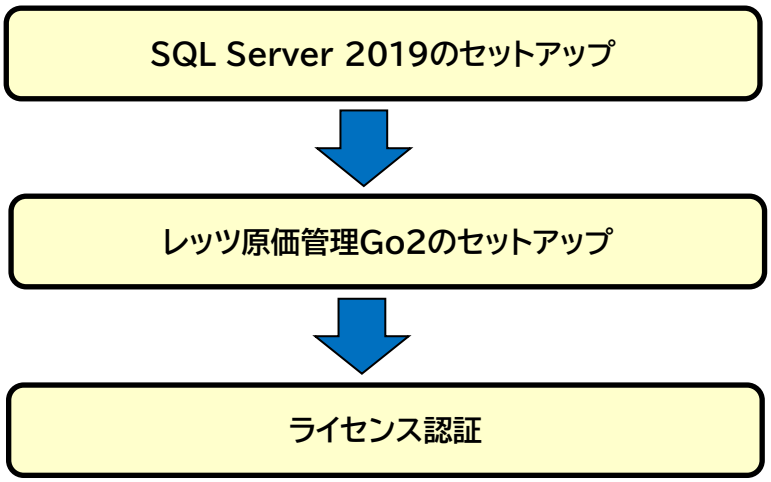
※SQL Server 2019 Express Editionでは、データ領域は1会社ファイルにつき最大10GBまでです。

2 既にSQL Serverがインストールされている場合

既にSQL Serverがインストールされているコンピューターにレッツ原価管理Go2のDVD-ROMより
データベースをインストールしようとすると次のようになります。

インストール済の環境	動作
SQL Server 2019	SQL Server 2019 Expressのインスタンス作成が行われます。
SQL Server 2017	Windows 11、Windows 10の場合、SQL Server 2019 Expressのインストールとインスタンス作成が行われます。
SQL Server 2014	
SQL Server 2012 R2	
SQL Server 2012	
SQL Server 2008 R2	
SQL Server 2008	

3 セットアップの流れ



インストール途中で何度かコンピューターの再起動を求められることがあります。

4 その他

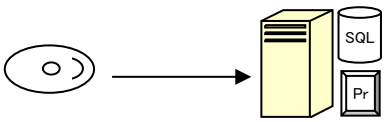
その他のアプリケーションの停止

インストールするコンピューターで他のアプリケーションが起動していないことを確認
してください。(ディスクメンテナンス、常駐セキュリティソフトも含む)

※セキュリティソフトの機能によりインストールが正常に行われない可能性があります。

2 レッツ原価管理Go2のセットアップ

レッツ原価管理Go2のセットアップを行います。



1 インストール前の確認事項

1 ハードディスクの空き容量

レッツ原価管理Go2本体　　：　400MB以上
SQL Server 2019　　：　1GB以上
別途、データ領域として同一コンピューター上に10GB以上の空き領域が必要です。

2 インストールするユーザーの権限

管理者権限を持っているユーザーでインストールして下さい。

3 データベースのインストール先

インストール先のドライブ又はフォルダーが、読み取り専用や暗号化、圧縮されてない
ことを確認して下さい。

4 コンピューター名

インストール後はコンピューター名を変更できません。
正しいコンピューター名になっているか確認してから、インストールして下さい。

【確認】

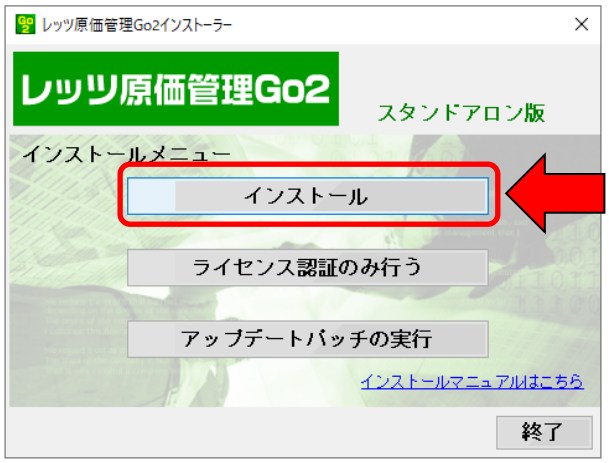
既にご購入済みのSQL Serverの上位エディションをご利用いただくことが可能です。
（マニュアル：<DVD-ROM>¥Documents¥SQL Server設定マニュアル¥
レッツ原価管理Go2SQL Server設定マニュアル.pdf）

その場合、先に上記マニュアルに従い SQL Serverのインストールを行ってください。
その後、当マニュアルのP.7 SQL Serverのインスタンス名・saパスワード指定画面で、別紙
SQL Server設定マニュアルP.4 8で設定したインスタンス名とP.4 9で設定した
saパスワードを指定してください。

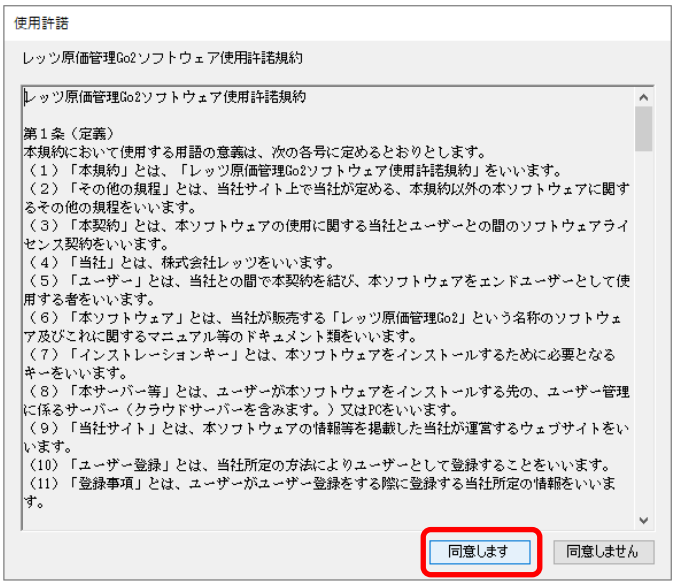
2 レッツ原価管理Go2 のインストール

1 レッツ原価管理Go2のDVD-ROMをコンピューターにセットします。
インストール画面が表示されます。
⇒ P.24「トラブルシューティング 1 インストーラーが自動的に起動しない」

2 「インストール」ボタンをクリックします。

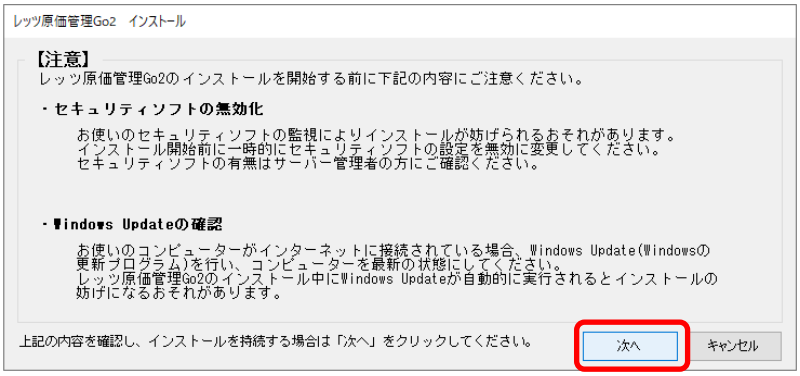


3 レッツ原価管理Go2の使用許諾規約画面が表示されます。
使用許諾規約内容を読み、同意いただける場合は「同意します」をクリックします。

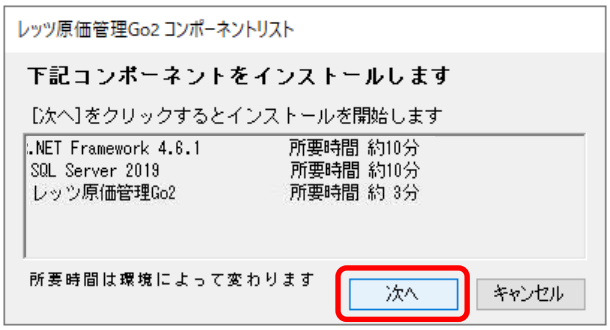


※同意しない場合、インストールはできません

4 インストール開始前の注意メッセージが表示されます。
セキュリティソフトの無効化、Windows Updateの確認を行い「次へ」をクリックします。

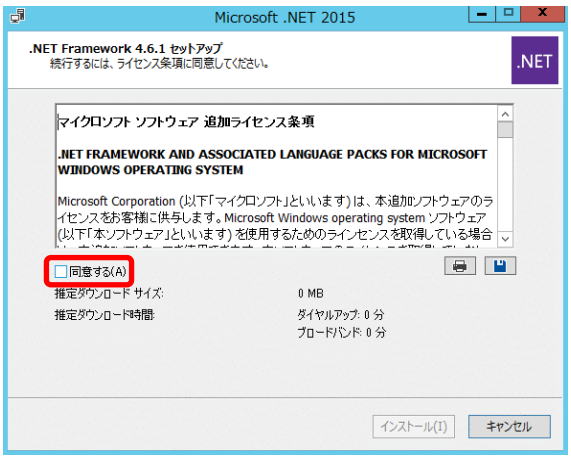


5 インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
内容を確認して「次へ」をクリックします。

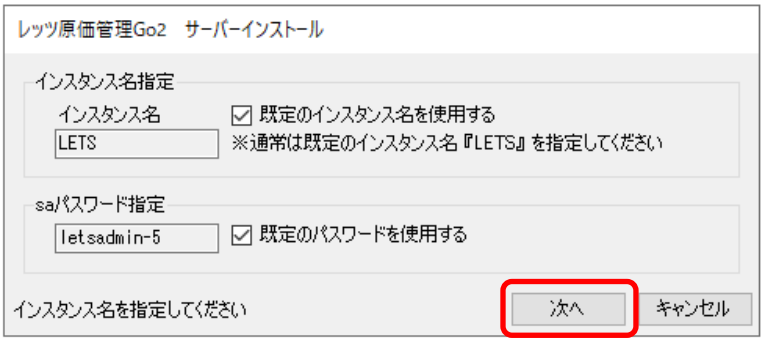


.NET Framework4.6.1をインストールする場合、インストールが完了するまで10分程度かかる場合があります。

.NET Framework4.6.1のインストール中に下の画面が表示されますので「□同意する」にチェックをつけて[インストール]ボタンをクリックします。



6 SQL Serverのインスタンス名・saパスワード指定画面が開きます。
（インストール済の場合は自動的に8に進みます）



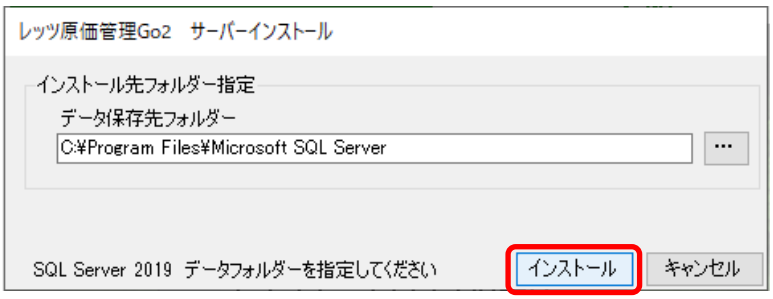
・レッツ原価管理Go2で使用するインスタンス名を変更したい場合
「□既定のインスタンス名を使用する」のチェックをOFFにすると、インスタンス名の入力が可能になります。任意のインスタンス名を入力してください。
※通常はインスタンス名に既定の『LETS』を使用することをお勧め致します。

・レッツ原価管理Go2で使用するsaパスワードを変更したい場合
「□既定のパスワードを使用する」のチェックをOFFにすると、saパスワードの入力が可能になります。任意のsaパスワードを入力してください。
※通常はsaパスワードに既定の『letsadmin-5』を使用することをお勧め致します。

任意のsaパスワードを使用する場合、レッツ原価管理Go2のサーバー選択画面>詳細設定画面でsaパスワードを設定する必要がありますので、saパスワードは必ずメモしてください。

上記内容を確認後「次へ」ボタンをクリックしてください。

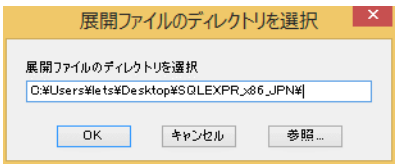
7 SQL Serverのデータ保存先指定画面が開きます。



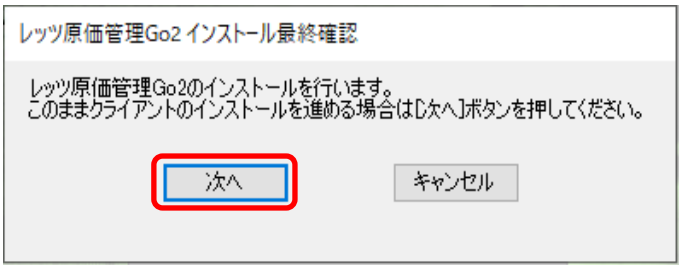
・データの保存先フォルダーを変更したい場合
インストール先フォルダー指定の[…]ボタンをクリックし、データ保存先のフォルダーを指定してください。

上記内容を設定、確認後「インストール」ボタンをクリックしてください。

※「インストール」ボタンのクリック後、以下の画面が開く場合があります。
その場合は内容を変更せず「OK」ボタンをクリックしてください。

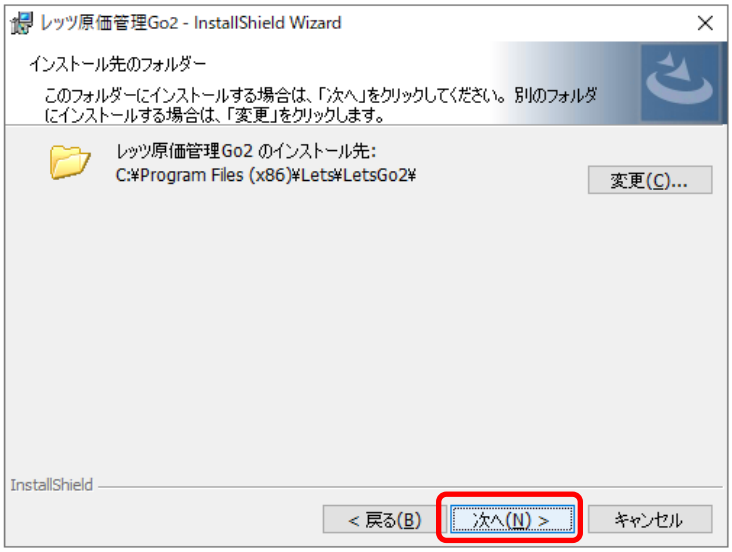


8 SQL Serverのインストール完了後、レッツ原価管理Go2インストール最終確認画面が表示されます。
インストールする場合は「次へ」をクリックします。

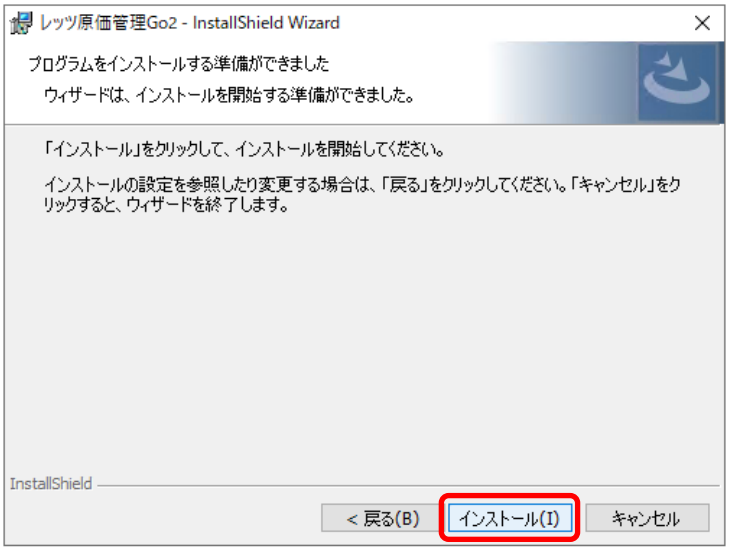


9 レッツ原価管理Go2本体のインストールウィザード画面が開きます。
「次へ」で進めます。

10 インストール先指定画面が表示されます。変更する場合は「変更」ボタンをクリックし、インストール先を指定します。「次へ」をクリックします。



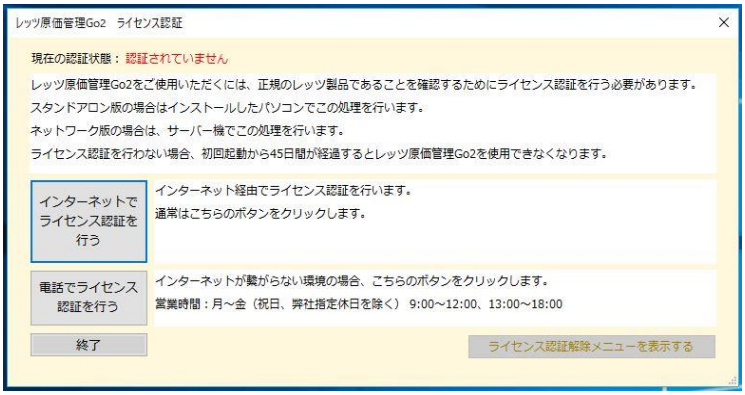
11 インストールの準備完了画面が表示されます。
「インストール」ボタンをクリックするとインストール処理が開始されます。



12 インストールが終了すると完了画面が表示されます。
「完了」ボタンでクライアントのインストールを終了します。

3 ライセンス認証

1 レッツ原価管理Go2のインストールが完了すると下のライセンス認証画面が表示されます。
または、レッツ原価管理Go2のDVD-ROMをコンピューターにセットし
「ライセンス認証のみ行う」をクリックすると下の画面が表示されます。

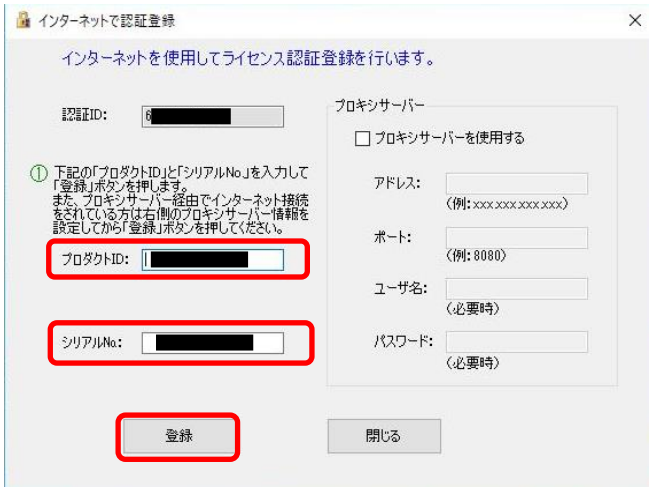


「インターネットでライセンス認証を行う」「電話でライセンス認証を行う」
のどちらかのボタンをクリックしライセンス認証を行います。

ライセンス認証を行わないと初回起動から45日間が経過すると起動できなくなります。
インストール直後に必ず行ってください。

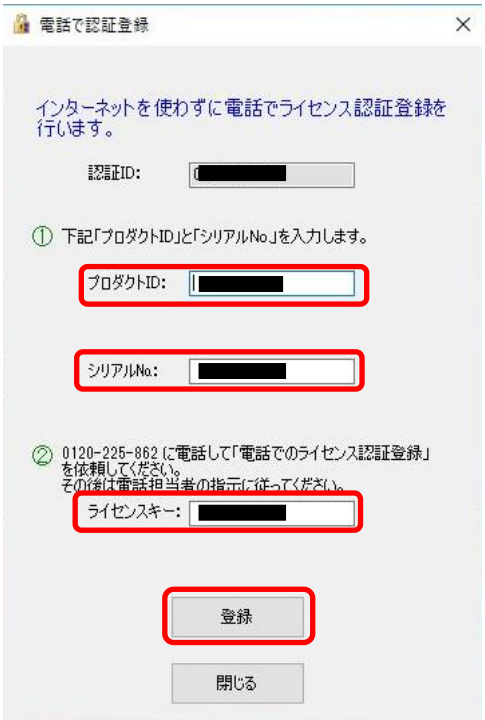
<インターネットでライセンス認証を行う>場合

以下の画面が開きます。
レッツ原価管理Go2DVD-ROMケースのライセンス証に記載されているプロダクトID・シリアルNoを
入力し登録ボタンをクリックします。
貴社の環境に合わせて、プロキシサーバーの設定を行ってください。



＜電話でライセンス認証を行う＞場合

以下の画面が開きます。
レッツ原価管理Go2DVD-ROMケースのライセンス証に記載されているプロダクトID・シリアルNoを入力し弊社サポートセンター(0120-225-862)までお電話をお願いいたします。
サポート担当者の指示に従いライセンスキーを入力し登録ボタンをクリックします。



インストール作業は以上で完了です。

4 バックアップ

データのバックアップを必ずお取りください！

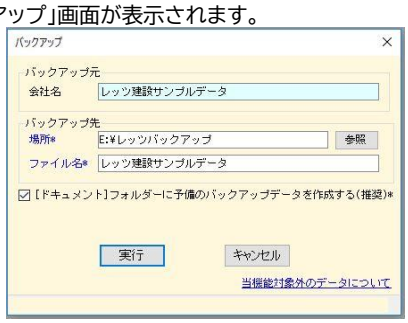
パソコンのトラブルで万が一データが壊れてしまった場合、バックアップデータがないと入力したデータはすべて失われてしまいます。
必ずデータのバックアップを行ってください。

※他社製バックアップソフトの復帰作業はサポート出来かねますので、**レッツ原価管理Go2標準のバックアップ機能をお使いください。**

※レッツ原価管理Go2標準のバックアップデータが無い場合およびバックアップデータ破損の場合、データ復帰が出来ない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

作業終了後には異常終了した場合を除いて**必ず**バックアップの操作を行ってください。

1 アイコンメニュー「補助」タブから「バックアップ」を選ぶと
バックアップ画面が表示されます。
※「環境設定」→「基本設定」タブの「バックアップ 終了時にバックアップを実行する」
にチェックしておくと、本システム終了時に自動的に「バックアップ」画面が表示されます。



2 「バックアップ元」を確認の上、「バックアップ先」を指定します。
※「バックアップ先」は必ず本システムとは別のドライブを指定してください。
同一ドライブ・フォルダーを指定した場合の動作は保証いたしかねます。

3 「実行」を選ぶと処理を開始し、終了後、本システムに戻ります。

バックアップは**毎日**

せっかくバックアップデータがあっても、それが数ヶ月前というのでは意味がありません。**バックアップは毎日必ず取りましょう。**
またバックアップがうまく取れなかったり、異常なデータをバックアップしてしまったりする可能性もあるので、念のため複数のバックアップデータを持つことをお奨めします。

例:
USBメモリで偶数日と奇数日の二組
USBメモリとハードディスクの二組

※データに異常を感じたときは、別のメディアや別フォルダーにバックアップし、前回までの正常なバックアップデータを消さないようにしてください。

3 レッツ原価管理Go！からの移行

1 移行の流れ

レッツ原価管理Go2のインストールを行う
旧製品からの移行を実行する前に、あらかじめレッツ原価管理Go2のインストールを行っておきます。
※本マニュアル 2-2 レッツ原価管理Go2のインストール　を参照

データのコンバート(変換)を行う
旧製品のデータをレッツ原価管理Go2の形式にコンバート(変換)します。

2 データコンバート

■コンバート対象製品
レッツ原価管理Go!

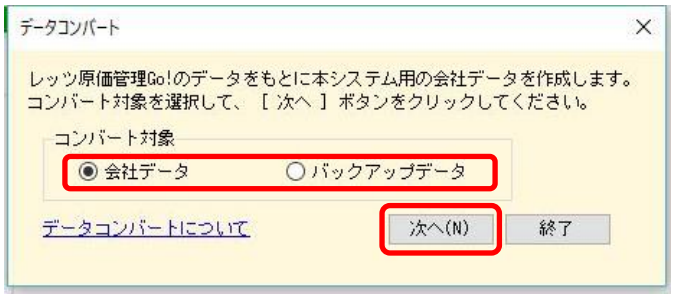
※レッツ工事台帳Pro/Liteのデータは、レッツ原価管理Go2へ直接コンバートできません。
弊社にてデータをお預かりしコンバートいたします。

■コンバート手順

1.レッツ原価管理Go2を起動します。

2.補助＞データコンバートをクリックします。
※メニューバーファイル＞データコンバートでも同じ画面が表示されます。

3.コンバートするデータの種類を[会社データ]または[バックアップデータ]から選択し
[次へ]ボタンをクリックします。

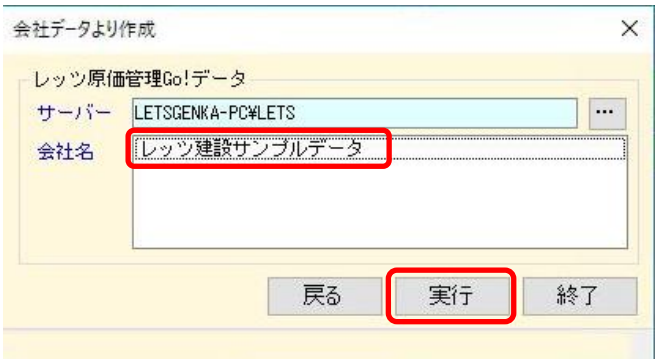


[コンバート対象]の選択基準
会社データ
→レッツ原価管理Go!と**同じパソコン**にレッツ原価管理Go2をインストールした場合に選択

バックアップデータ
→レッツ原価管理Go!と**違うパソコン**にレッツ原価管理Go2をインストールした場合に選択

4.コンバートするデータを選択します。

＜会社データを選択した場合＞
コンバートする会社データを選択し[実行]ボタンをクリックします。



レッツ原価管理Go2で作成される会社名は、レッツ原価管理Go!と同じになります。
変更できません。

＜バックアップデータを選択した場合＞
[参照]ボタンをクリックし、レッツ原価管理Go!のバックアップファイルを選択します。
[会社名]を任意に変更し[実行]ボタンをクリックします。
※会社名にはバックアップファイル名が自動セットされます。

5.コンバートの完了メッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

3 データコンバート後の設定と確認

1.データコンバートでは以下のデータはコンバートされません。
レッツ原価管理Go2で再度設定が必要です。

・見積書・工事登録・各伝票の入力設定
・各集計表の集計条件
・メニュー色設定
・文字サイズ設定
・Excel書出の設定(テンプレート保存先パス・テンプレートファイル名・書出先)
・PDF/TXT書出先の設定
・前回ログインしたユーザー名　※ユーザー管理をしている場合のみ
・バックアップファイル保存先の設定

2.帳票レイアウターのデータ移行
レッツ原価管理Go!で作成した帳票レイアウターのデータはコンバートされません。

レッツ原価管理Go!の帳票レイアウターを起動し、レイアウトを変更した帳票を選択の上
エクスポートします。

その後、**レッツ原価管理Go2の帳票レイアウター**を起動し、該当の帳票を選択の上
インポートします。

3.Excelテンプレートの移行
レッツ原価管理Go!で使用していたExcelテンプレートは移行されません。
レッツ原価管理Go!で使用していたパソコンから任意のフォルダーに**コピー**し、
レッツ原価管理Go2のExcel書出画面にてテンプレートの保存先を**再設定**します。

4 補足

1 使用コンピューターの変更

コンピューターの故障や、アップグレードなどの為、別のコンピューターでレッツ原価管理Go2を使用する場合に実行します。

【旧コンピューターでの作業】

1 レッツ原価管理Go2のバックアップを取ります。
複数会社データがある場合はすべての会社データのバックアップを取ります。

【重要】バックアップが無い場合、新コンピューターにデータを引き継ぐことはできません。

2 「個人設定保存」を実行します。
(⇒ P.23～「4-3-1.個人設定保存」参照)

3 レッツ原価管理Go2のライセンス認証解除を行います。
(⇒ P.17～「4-2-1.ライセンス認証を解除する」参照)

【新コンピューターでの作業】

4 新しいコンピューターにレッツ原価管理Go2をインストールします。
(⇒ P.4～「2.レッツ原価管理Go2のセットアップ」参照)

5 レッツ原価管理Go2を起動し、「会社新規作成」を開きます。
新規に会社を作成します。

6 新しく作った会社データに1.で作ったバックアップデータを復帰させます。
(複数の会社データが有る場合は5の作業を繰り返し、すべて復帰させます)

7 「個人設定読込」を実行します。
(⇒ P.23～「4-3-2.個人設定読込」参照)

【旧コンピューターでの作業】

8 レッツ原価管理Go2をアンインストールします。
(⇒ P.20 「4-2-2.レッツ原価管理Go2のアンインストール」参照)

9 データベースを削除します。
(⇒ P.20 「4-2-3.データベース(レッツ原価管理Go2用インスタンス)の削除」参照)

2 アンインストール

レッツ原価管理Go2をご使用になられなくなった場合以下の処理を行ってください。

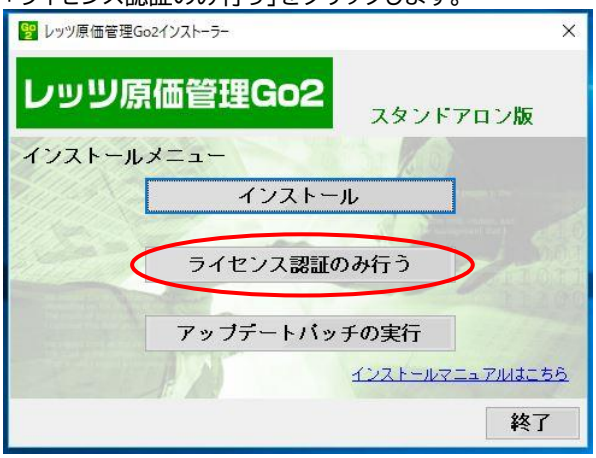
1 ライセンス認証を解除する ……P17
2 レッツ原価管理Go2のアンインストール ……P20
3 データベース(レッツ原価管理Go2用インスタンス)の削除 ····P20

1 ライセンス認証を解除する

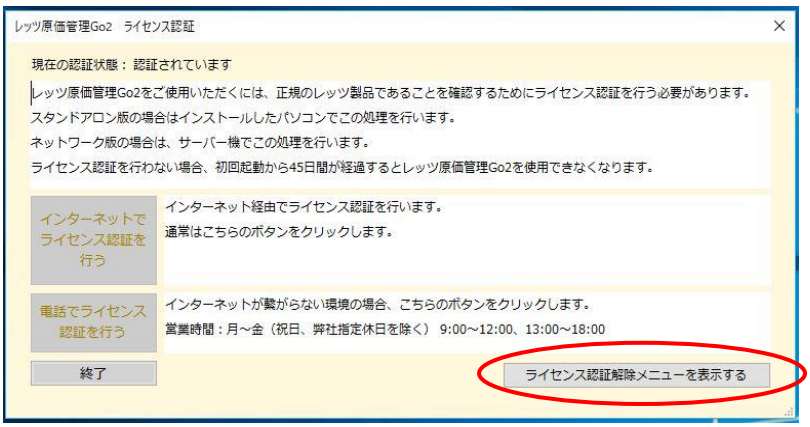
コンピューターからレッツ原価管理Go2のライセンス認証情報を解除します。
管理者権限のあるユーザーでログインしている状態で行ってください。

1 レッツ原価管理Go2のインストールDVD-ROMをセットします。

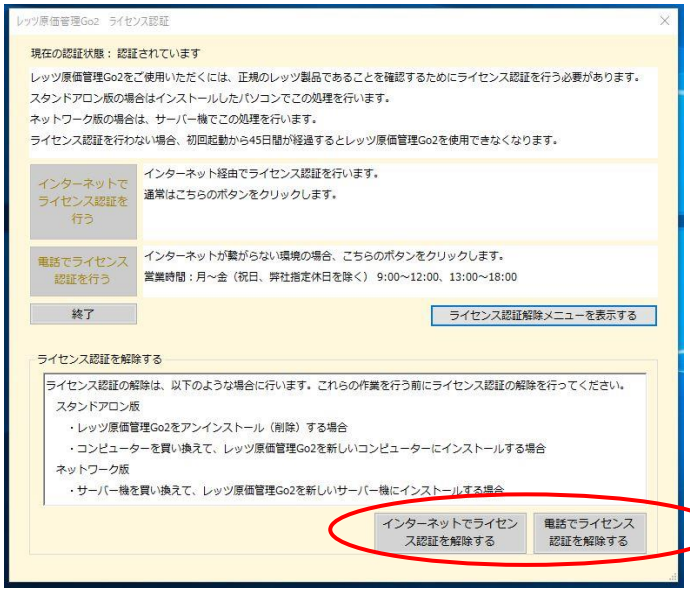
2 「ライセンス認証のみ行う」をクリックします。



3 「ライセンス認証解除メニューを表示する」をクリックします。

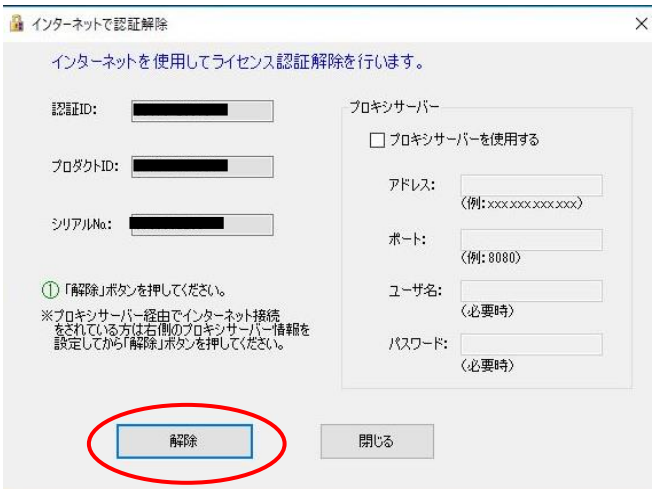


4「インターネットでライセンス認証を解除する」「電話でライセンス認証を解除する」
のどちらかのボタンをクリックしライセンス認証解除を行います。



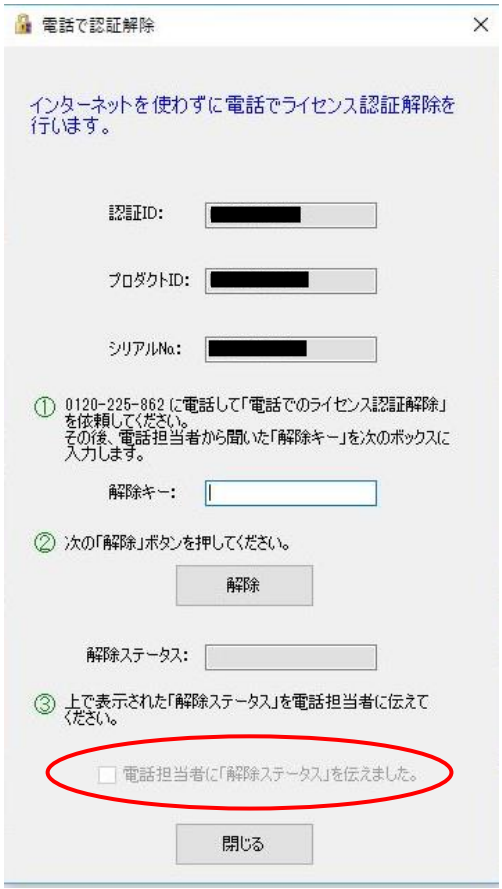
<インターネットでライセンス認証を解除する>場合

以下の画面が開きます。
「解除」ボタンをクリックします。



<電話でライセンス認証を解除する>場合

以下の画面が開きます。
弊社サポートセンター(0120-225-862)までお電話いただき解除キーを発行します。
サポート担当者の指示に従い解除キーを入力し解除ボタンをクリックします。
解除ステータスをサポート担当者にお伝えいただき
□電話担当者に「解除ステータス」を伝えました。にチェックを入れて
閉じるボタンをクリックします。



使用していたコンピューターが故障で起動しない等でライセンス認証解除ができない場合は、弊社サポートセンター(0120-225-862)までご連絡ください。
※電話対応にてライセンス認証を解除いたします。

2 レッツ原価管理Go2のアンインストール

コンピューターからレッツ原価管理Go2プログラムを削除します。
管理者権限のあるユーザーでログインしている状態で行ってください。

【メモ】会社データは削除されません。 会社データの削除は、レッツ原価管理Go2のプログラムの「会社データ削除」機能、もしくはP.20「データベース（レッツ原価管理Go2用インスタンス）の削除」で行います。
※データベースの削除を行った場合、インスタンスに存在する全ての会社データが削除されます。

＜DVD-ROMを使用しない場合＞

1 「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を開きます。

2 表示されたプログラムの一覧から「レッツ原価管理Go2」を選択し、「アンインストール」を実行します。

3 データベース（レッツ原価管理Go2用インスタンス）の削除

データベース上からレッツ原価管理Go2で使用しているインスタンスを削除します。
管理者権限のあるユーザーでログインしている状態で行ってください。

【重要】

・インスタンスを削除すると、レッツ原価管理Go2用にデータベースに保存されているすべてのデータが削除され、元に戻すことはできません。
インスタンスを削除する前にバックアップを作成し、そのバックアップファイルで正常に復帰できることを確認してください。

・SQL Server 2019に他のソフトウェアのインスタンスが存在する場合があります。誤って他のインスタンスを削除しないようにご注意下さい。削除してしまった場合のデータ復旧は弊社ではサポートできかねますのであらかじめご了承下さい。

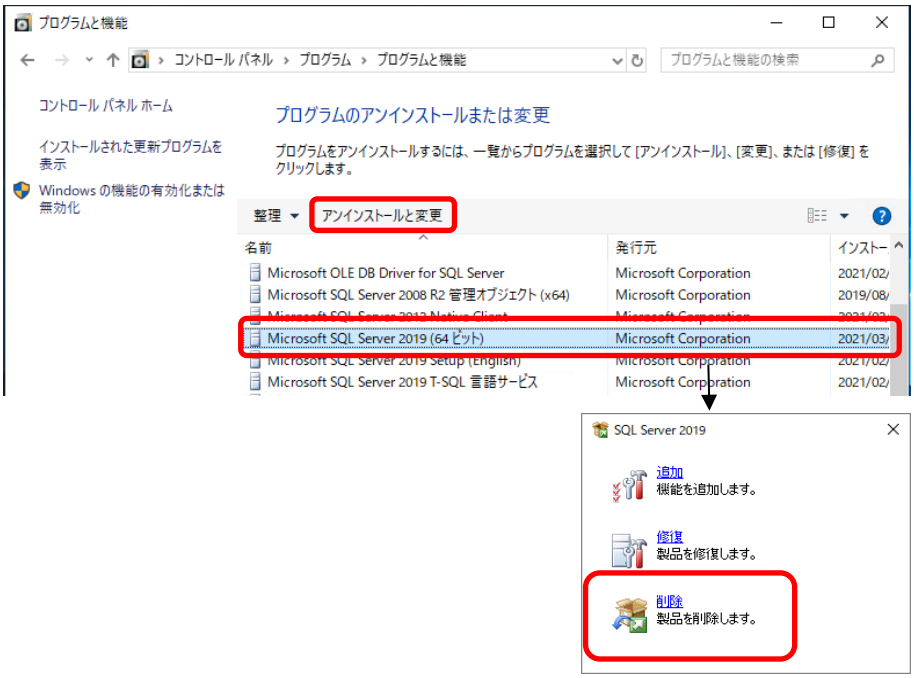
<手順>

1 レッツ原価管理Go2を終了します。

2 「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を開きます。

表示されたプログラムの一覧から「Microsoft SQL Server 2019」を選択します。

「アンインストールと変更」ボタンをクリックします。

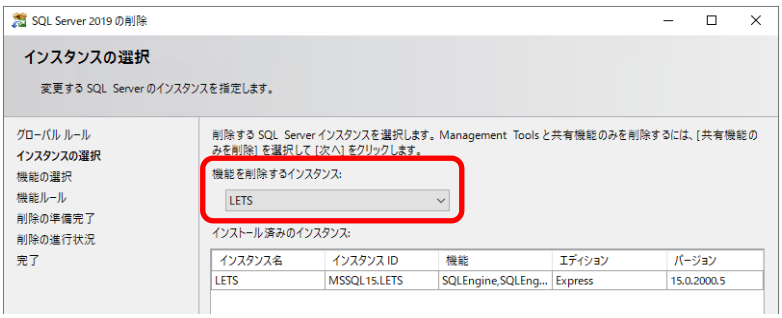


処理の内容は「削除」を選択します。

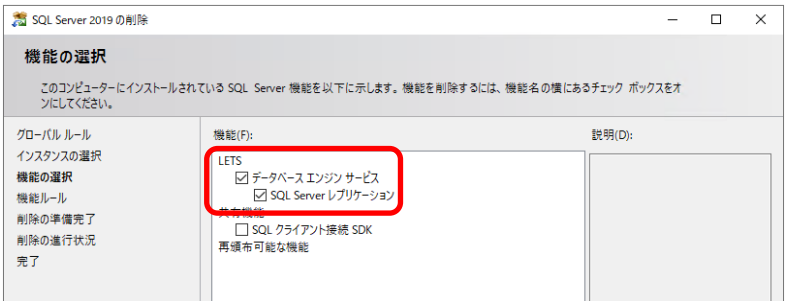
3 「OK」をクリックし進めます。

4 「インスタンスの選択」で削除するインスタンス名 ※1 を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

※1 インストール時に指定した任意のインスタンス名(既定:LETS)

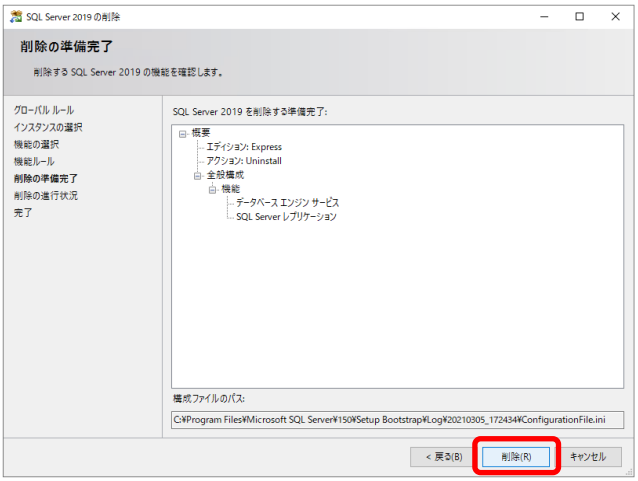


5 「機能の選択」で「データベースエンジンサービス」と「SQL Server レプリケーション」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。



6 「次へ」をクリックし進めます。

7 「削除」をクリックします。



8 インスタンスの削除が実行されます。
以上でデータベースの削除は終了です。

※ インスタンスをすべて削除するとSQL Server 2019も一緒に削除されます。

※ SQL Server 2019をアンインストールした後、SQL Server 2008 R2 管理オブジェクト、SQL Server 2019 T-SQL 言語サービス、SQL Server 2019 セットアップ(日本語)のアンインストールを行ってください。
(他のアプリケーションでSQL Serverを使用している場合、この処理は
行わないでください)

3 個人設定保存／個人設定読込

クライアント毎に保持されている設定情報などをファイルに保存・読込する機能です。
クライアントPCの入れ替え時に設定を引き継ぎたい場合に使用します。

■保存対象の設定項目
- ・集計条件
- ・表示項目の設定
- ・各伝票の入力設定
- ・Excel書出の設定情報（テンプレートの場所、最終選択ファイル名）
- ・帳票レイアウターで変更・修正した印刷レイアウト
- ・PDF出力、TEXT書出の出力先
- ・その他設定情報（文字サイズ、画面サイズ等）

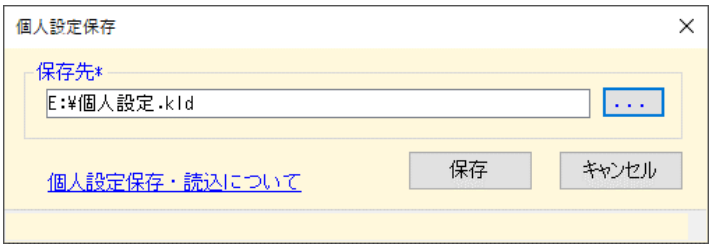
【重要】
Excel書出のレイアウト編集を行っている場合、変更したテンプレートファイルは保存されません。
別途共有フォルダなどを使って新PCに移動する必要があります。

1 個人設定保存

1 旧PCのレッツ原価管理Go2からメニューバーの「ファイル」→「個人設定保存」を開きます。

2 「…」からファイルの保存先、ファイル名を指定して「保存」を押すと設定ファイルが保存されます。

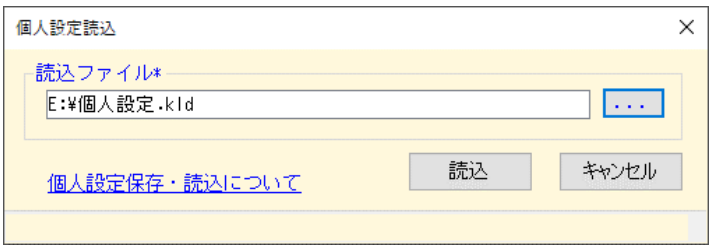
3 保存された設定ファイルを共有フォルダなどを使って新PCに移動します。



2 個人設定読込

1 新PCのレッツ原価管理Go2からメニューバーの「ファイル」→「個人設定読込」を開きます。

2 「…」からファイルの保存先、ファイル名を指定して「読込」を押すと設定ファイルが読込されます。



4 トラブルシューティング

1 インストール前

1 インストーラーが自動的に起動しない

レッツ原価管理Go2のインストールDVD-ROMをコンピューターに挿入してもインストーラーが自動で起動しない場合、下記の手順でインストーラーを手動で起動してください。

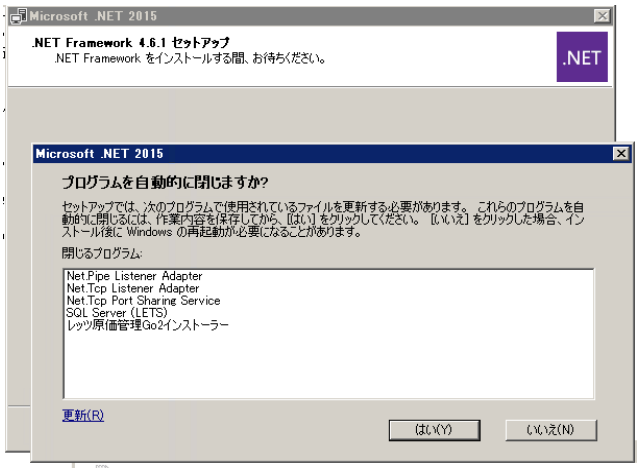
1 エクスプローラーを表示します。
Windows 11/10の場合、デスクトップを表示してタスクバーの[エクスプローラー]ボタンをクリックします。

2 レッツ原価管理Go2のDVD-ROMをセットしたドライブのアイコンを右クリックして表示されるメニューから[開く]をクリックします。

3 [setup]ファイルをダブルクリックします。

2 .NET Framework4.6.1セットアップ

1「プログラムを自動的に閉じますか？」と確認メッセージが表示された



・「いいえ」でメッセージを進めてください。
パソコンの再起動が必要となる場合がありますので、指示に従い再起動を行ってください。
再起動後、再度レッツ原価管理Go2のインストールを行ってください。

3 SQL Server のセットアップ

1 SQL Serverのインストール時に、セットアップ グローバル ルール画面で「コンピューターの再起動(RebootRequiredCheck)」が失敗と出た

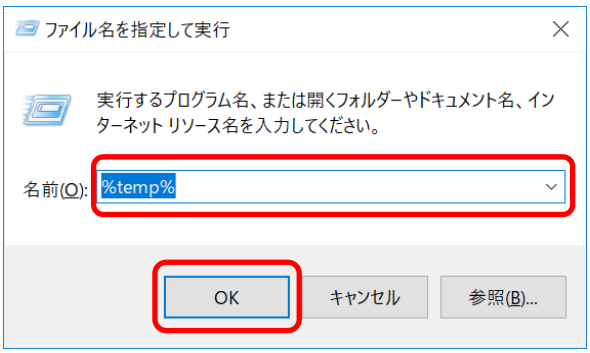
・PCを再起動後、再度インストールを実行して下さい。
それでも現象が解消しない場合、お手数ですが弊社までご連絡下さい。

2 SQL Serverのインストール失敗または中断し、再度インストールする際の注意点

・tempフォルダ内のletsgo2_temp_instancename.ini(インストール途中にしか残らないファイル)を削除してから再度SQL Serverのインストールを行ってください。

・tempフォルダの開き方

1.デスクトップ画面でWindowsキー+Rキーを押します。
2. [%TEMP%]と入力し、[OK]ボタンをクリックするとtempフォルダが開きます。



4 レッツ原価管理Go2の起動とサーバー選択

1 レッツ原価管理Go2起動時に、「サーバーへ接続できません」と メッセージが表示された

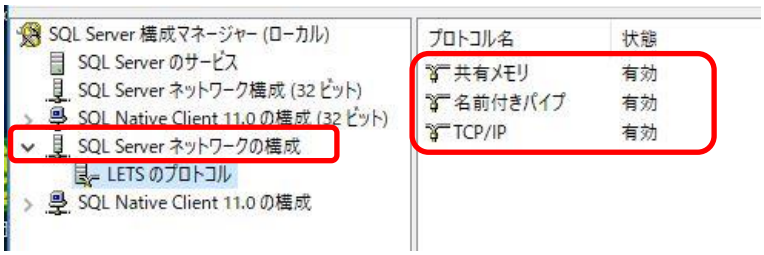
・ SQL Serverのsaパスワードが正しいか確認します。(任意のsaパスワードを指定した場合)

SQL Serverのインストール時、任意のsaパスワードを指定した場合は、その指定した saパスワードをレッツ原価管理Go2で設定する必要があります。
①会社新規作成や会社選択画面にある「…」ボタンをクリック
②サーバー選択画面にある「詳細設定」を開き、SQL Serverのインストール時に指定した saパスワードを設定します。

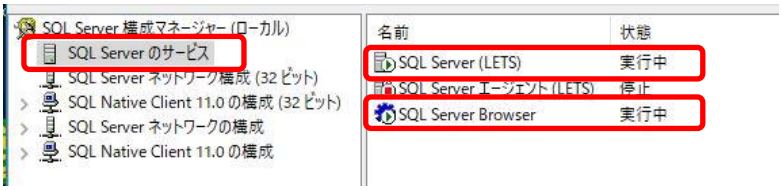
・ SQL Server 2019の起動状態を確認します。

①「スタートメニュー」→「すべてのプログラム」→「Microsoft SQL Server 2019」→ 「SQL Server 2019 構成マネージャー」を開きます。
※Windows 11の場合、「すべてのプログラム」は「すべてのアプリ」と表示されます。

②「SQL Server ネットワークの構成」下「***のプロトコル」※1 を選択し、「共有メモリ」 「名前付きパイプ」と「TCP/IP」の状態のいずれかが「無効」の場合、右クリックメニュー の「有効化」を選択し状態を[有効]にしてください。



③「SQL Serverのサービス」を選択し、「SQL Server(****)」※1 と 「SQL Server Browser」の「状態」が「実行中」であることを確認します。 「停止」になっている場合は右クリックメニューで「開始」して下さい。



※1にはサーバーのセットアップ時に決めたインスタンス名が表示されます。 初期値は「LETS」が入力されています。

※「SQL Server エージェント」は停止状態で問題ありません。

Memo

レッツ原価管理Go2

インストールマニュアル
（スタンドアロン版）

初　版　2017年8月17日

第11版　2023年10月23日

発行者　株式会社レッツ
〒989-6106 宮城県大崎市古川幸町1丁目6-12

・本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがございます。

LET S